

特有の消火方法

危険でなければ火災区域から容器を移動する。
消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。
消火作業は風上から行い、場合によっては個人保護具を着用する。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

ただちに、すべての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。
屋内の場合、処理が終わるまで充分換気を行う。
漏出した場所の周辺にロープを張るなどして、関係者以外の立ち入りを禁止する。

風上から作業し、風下の人を非難させる。
こぼれた場合は滑りやすいために注意する。
関係者以外の立ち入りを禁止する。
作業者は適切な保護具(「8. ばく露防止及び保護措置」の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。
適切な保護具を着けていないときは、破損した容器あるいは漏洩物に触れてはいけない。

環境に対する注意事項

密閉された場所は換気する。
漏出した薬品、濃厚な廃液が河川等に流出しないように注意する。
大量の水で希釈する場合は、汚染された排水が適切に処理されずに環境に流出しないように注意する。その他の環境情報については「12.環境影響情報」の項を参照する。

封じ込め、浄化方法及び機材

乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。危険でなければ漏れを止める。

二次災害の防止策

環境規制に従って汚染された物体および場所をよく洗浄する。排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意 取扱い

技術的対策

「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用すること。

安全取扱い注意事項

密閉された場所は換気する。
眼、皮膚との接触を避けること。
飲み込まないこと。
ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
使用後は容器を密閉すること。
漏れ、あふれ、飛散しないようにすること。
容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、または引きずる等の粗暴な扱いをしないこと。
「10. 安定性及び反応性」を参照すること。
取扱い後はよく手を洗うこと。
本製品を使用する時に飲食又は喫煙をしないこと。

接触回避 衛生対策

保管

安全な保管条件

2～8℃で保管すること。

安全な容器包装材料

製品本来の容器で保管すること。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度

設定されていない。

許容濃度

日本産業衛生学会 ACGIH

アジ化ナトリウム(CAS:26628-22-8): 未設定(2009年版)
アジ化ナトリウム(CAS:26628-22-8): STEL(C) 0.29ppm(アジ化ナトリウムとして)
STEL(C) 0.11ppm(アジ化水素酸蒸気として)(2009年版)

設備対策

屋内作業場での使用の場合は、換気すること。
この物質を貯蔵ないし取り扱う作業場には手洗い・洗面器を設置し、その位置を明瞭に表示すること。

保護具

呼吸用保護具 手の保護具

必要に応じて適切な個人用呼吸器保護具を着用すること。
適切な個人用保護手袋を着用すること。

眼の保護具
皮膚及び身体の保護具

適切な個人用保護眼鏡を着用すること。
適切な個人用保護衣等を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	液体
色	茶褐色のビーズを含む淡黄色～黄色
臭い	データなし
融点／凝固点	－
沸点又は初留点及び沸点範囲	データなし
可燃性	データなし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	データなし
引火点	データなし
自然発火点	データなし
分解温度	データなし
pH	7.7～7.9(25℃)
動粘性率	データなし
溶解度	－
n-オクタノール／水分配係数(log値)	－
蒸気圧	データなし
密度及び／又は相対密度	－
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし
その他のデータ	なし

10. 安定性及び反応性

反応性	通常の条件下では反応性はない。
化学的安定性	通常の取扱条件において安定である。
危険有害反応可能性	通常の条件下では反応性はない。
避けるべき条件	直射日光、熱、空気
混触危険物質	データなし
危険有害な分解生成物	本製品に含まれるアジ化ナトリウムは、鉛管、銅管と反応して爆発性の強い金属アジドを生成することがある。

11. 有害性情報

	成分の有害性情報	製品
急性毒性(経口)	アジ化ナトリウム(CAS: 26628-22-8) ラットのLD50 = 45 mg/kg (DFGOT vol.20 (2003))から区分2とした。	情報なし
急性毒性(経皮)	アジ化ナトリウム(CAS: 26628-22-8) ウサギのLD50 = 20 mg/kg (ACGIH (2001))から区分1とした。	情報なし
急性毒性(吸入: ガス)	アジ化ナトリウム(CAS: 26628-22-8) GHS定義における固体である。	情報なし
急性毒性(吸入: 蒸気)	アジ化ナトリウム(CAS: 26628-22-8) データなし。	情報なし
急性毒性(吸入: 粉塵、ミスト)	アジ化ナトリウム(CAS: 26628-22-8) データ不足で分類できない。	情報なし
皮膚腐食性/皮膚刺激性	アジ化ナトリウム(CAS: 26628-22-8) ウサギの皮膚に適用した試験の結果報告(DFGOT vol.20 (2003))に基づき区分1とした。	情報なし
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	アジ化ナトリウム(CAS: 26628-22-8) 皮膚腐食性が区分1なので、眼も「区分1」とした。	情報なし
呼吸器感作性	アジ化ナトリウム(CAS: 26628-22-8) データなし。	情報なし

	成分の有害性情報	製品
皮膚感作性	アジ化ナトリウム(CAS: 26628-22-8) データなし。	情報なし
生殖細胞変異原性	アジ化ナトリウム(CAS: 26628-22-8) in vivo試験のデータがなく分類できない。	情報なし
発がん性	アジ化ナトリウム(CAS: 26628-22-8) ACGIHによりA4に分類されている[ACGIH-TLV(2005)]ので「区分外」とした。	情報なし
生殖毒性	アジ化ナトリウム(CAS: 26628-22-8) 出生前の毒性評価には使用できないと述べられている(DFGOT vol.20 (2003))。かつ、投与方法も特殊であることから「分類できない」とした。	情報なし
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	アジ化ナトリウム(CAS: 26628-22-8) 本物質を数グラム摂取した自殺例(ACGIH (2001))の所見として、肺水腫と脳水腫の記載があることから区分1(肺、中枢神経系、全身毒性)とした。	情報なし
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	アジ化ナトリウム(CAS: 26628-22-8) 試験物質ばく露に起因する脳の壊死と心血管虚脱が原因である述べられている(NTP TR389 (1991))ことから、区分1(中枢神経系、心血管系)とした。	情報なし
誤えん有害性	アジ化ナトリウム(CAS: 26628-22-8) データなし。	情報なし

12. 環境影響情報

生態毒性

アジ化ナトリウム(CAS: 26628-22-8)

製品: 水生環境有害性 短期 (急性): 情報なし

藻類(*Pseudokirchneriella subcapitata*)での96時間ErC50=348 μ g/L (AQUIRE、2010)であることから、区分1とした。

製品: 水生環境有害性 長期 (慢性): 情報なし

急性毒性区分1であり、急速分解性がない(直接測定(HPLC)による分解度: 1%(既存点検、2000))ことから、区分1とした。

残留性・分解性

データなし

生態蓄積性

データなし

土壌中の移動性

データなし

オゾン層への有害性

データなし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に処理を委託する。なお、本製品の廃棄に際しては、潜在的な感染性があることに留意する。(廃棄は、国、都道府県、市町村の法規制に則る必要がある。)

14. 輸送上の注意

国内規制

陸上規制

消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法に従う。

海上規制

船舶安全法に定められている運送方法に従う。

航空規制

航空法に定められている運送方法に従う。

15. 適用法令

化学物質管理促進法 (PRTR法)

・アジ化ナトリウム(CAS: 26628-22-8)
第1種指定化学物質(2023年3月31日まで)
(「法第2条第2項」、「施行令第1条、別表第1」)
※本製品の含有量は1質量%より少ないため、該当しない。

労働安全衛生法

・アジ化ナトリウム(CAS: 26628-22-8)
-名称等を表示すべき危険物及び有害物
(「法第57条第1項」、「施行令第18条第1号、第2号、別表第9」)
※本製品は、体外診断用医薬品であるため、該当しない。
-名称等を通知すべき危険物及び有害物
(「法第57条の2」、「施行令第18条の2第1号、第2号、別表第9」)
※本製品は、体外診断用医薬品であるため、該当しない。

毒物及び劇物取締法

・アジ化ナトリウム(CAS:26628-22-8)
毒物(指定令第1条)
※本製品は、体外診断用医薬品であるため、該当しない。

医薬品医療機器等法

体外診断用医薬品

16. その他の情報

参考文献

- 1)製品評価技術基盤機構 http://www.nite.go.jp/chem/ghs/ghs_index.html
- 2)厚生労働省 職場のあんぜんサイト http://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pg/GHS_MSD_FND.aspx
- 3)GHSに基づく化学品の分類方法 (JIS Z7252:2019)
- 4)GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル、作業場の表示及び安全データシート(JIS Z7253:2019)

その他

本データシートは作成年月日での製品情報を記載しておりますが、すべての情報を網羅しているものではありません。新たな情報を入手した場合には追加又は訂正されることがあります。記載されている内容は、安全な取扱いを確保するための情報であり、いかなる保証をなすものではありません。ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定下さるようお願い申し上げます。

改訂履歴

作成日:2017年4月1日
改訂日:2022年5月16日